

日本維新の会共同代表橋下徹大阪市長の発言に対する抗議決議

2013年5月13日、日本維新の会共同代表の橋下徹大阪市長は、本市に駐留する米軍普天間飛行場を視察した際、在沖米軍幹部に対し、「海兵隊の猛者の性的エネルギーをコントロールできない。建前論だと人間社会は回らない」と話したとされる。その上、「兵士の性をどうコントロールするかはいつの時代にあっても軍のオペレーションの最重要課題。だから沖縄の司令官に法律上認められている風俗業を活用してはどうかと言った」と明らかにした。さらに、さきの大戦における旧日本軍の「従軍慰安婦」問題で、「当時は軍の規律を維持するために必要だった。」と発言をした。これらの発言は全女性の人権と尊厳を踏みにじるもので到底許されるものではない。

5月25日の会見で橋下市長は、米軍と米国民に対しての謝罪と発言の撤回を表明したが、沖縄県民と元慰安婦に対しての謝罪がなかったことに強い憤りを覚える。

また、沖縄の司令官に対する発言は、米軍基地の整理縮小に逆行することはもちろん、県民の人権を真っ向から否定する発言であり、米軍人による性犯罪被害者への配慮を全く欠いた発言で、到底看過できるものではない。

以上のことから、国政政党の代表であり市長という立場である、日本維新の会共同代表橋下大阪市長に対し、本市議会として強く抗議するとともに、全ての女性と元慰安婦に謝罪し、米軍人による性犯罪被害者と沖縄県民に対しても謝罪を求める。

以上、決議する。

平成25年6月24日

沖縄県宜野湾市議会

あて先：日本維新の会共同代表 橋下徹